

R6 地域福祉推進のためのアンケート調査の質問項目について
(成年後見制度に関するものを抜粋)

【前提】

全体の質問数は 30 問以内に収める

【前回調査の削除候補】

問 2 2 - 3 「成年後見制度に関する考え」

⇒新規の質問「制度の利用希望と理由」(問 A)「制度の特徴に対する認知度」(問 B)、で把握できるのではないか

問 2 4 「隣近所に判断能力が十分でないと感じる人はいるか」

問 2 4 - 2 「その理由」

⇒質問意図によっては、問 1 2 「隣近所に行政等の支援が必要だと感じる人」「その理由」と類似するので、問 1 2 の選択肢を再構築することで問 2 4 は削除

問 2 5 「市民後見人の認知度」

⇒認知度を上げたい思いはあるが、まずは成年後見制度の認知度ではないか聞くのであれば、「市民後見人の活動に興味があるか」まで聞いてみたい

⇒全体の質問数を 30 問以下に収める中で調整する

問 2 6 「判断能力が低下したときに相談したいと思う相手」

⇒問 1 0 「困ったことや不安を感じたときの」と類似するので、削ってもいい(問 10 の選択肢に家族も入れる)

⇒全体の質問数を 30 問以下に収める中で調整する

【新規の質問候補】

問 A 「将来、自身または親族に成年後見制度を利用したいと思うか」

(ア) 必要があれば利用したい

(イ) 利用したくない

(ウ) わからない

⇒問 A-2 問 A で (ア) と答え方にその理由(複数回答)

(ア) 親族や友人に制度を利用して身上保護や金銭管理を依頼したいから

(イ) 頼れる親族等がないため、専門家に身上保護や金銭管理を依頼したいから

(ウ) 専門家に身上保護や金銭管理をお願いできれば安心だから

(エ) 相続や家の処分等の手続きで必要性が出たら利用せざるを得ないから

(オ) その他 ()

⇒問 A-3 問 A で (イ) と答えた方にその理由(複数回答)

(ア) 成年後見制度についてよく分からないから

(イ) 成年後見制度そのものに反対だから

(ウ) 手続きが複雑だから

(エ) 申立て費用や報酬等の負担があるから

(質問の意図)

制度のニーズ把握

- (オ) 後見人等に身上保護や金銭管理を委ねることが心配だから
- (カ) 親族（介護者）が元気なうちは、親族が身上保護や金銭管理をしたいから（親族に身上保護や金銭管理をしてもらいたいから）
- (キ) 利用のタイミングがわからないから
- (ク) 誰が後見人に選任されるか不安だから
- (ケ) その他（ ）
- （質問の意

問 B 成年後見制度を知っている方に対して「成年後見制度の特徴で知っていることは何ですか」(複数回答)

- (ア) 後見人等は、本人に代わって財産や預貯金の管理、福祉サービス契約や賃貸借契約など、本人が生活していくうえで必要な法行為を行う
 - (イ) 家庭裁判所が後見人等を選任する「法定後見制度」と、本人が将来に備えて後見人となる人と契約を結ぶ「任意後見制度」がある
 - (ウ) 後見人等の業務には、家事、介護等の直接的に行う行為は含まれない
 - (エ) 後見人等の業務には、手術などの医療行為等の同意は含まれない
 - (オ) 後見人等の業務には、病院への入院や施設入所時の保証人は含まれない
 - (カ) 成年後見制度は本人のための制度であるため、原則として本人のためにその財産を支出する
 - (キ) 成年後見制度の利用は、本人の判断能力が回復した場合等を除き、途中でやめることはできない
 - (ク) 成年後見制度の利用には家庭裁判所への申立て費用や必要に応じて後見人等への報酬などのお金がかかる
 - (ケ) 利用手続きは、判断能力が残存している本人または親族等が家庭裁判所に申立て、家庭裁判所が後見人等を選任する
 - (コ) 国では成年後見制度の見直しに向けた検討が現在行われている
 - (サ) その他
- ※(キ)～(ケ)は法定後見制度に関する事項

※（キ）～（ケ）は法定後見制度に関する事項